

古河市男女共同参画情報通信

古河市
人権・男女共同参画室
平成31年3月発行

～「意識」から「行動」へ、目指そう男女共同参画社会。～

みなさんこんにちは！古河市人権・男女共同参画室です！

男女共同参画情報通信 第11回をお届けします！

Vol.11



古河市男女共同参画都市宣言10周年記念フォーラム

「パートナーシップ in 古河2019」を開催しました

2月9日にコスモスプラザにて「パートナーシップ in 古河2019」を開催しました。この催しは平成31年2月で古河市が男女共同参画都市宣言より10周年を迎えることから、市内における男女共同参画の意識をより一層高めると共に、市内外へ男女共同参画宣言都市であることを広めるために開催されました。

☆オープニングアトラクション☆

ちよっと 「一寸ちゃんが行く」

男女共同参画古河市民ネットワーク（ゆめこらぼ）



⇐ 昔話を男女共同参画風にアレンジした紙芝居を披露して頂きました

☆講演☆

演題 「居場所」のない男、「時間」がない女

講師 みなした きりう 水無田 気流 氏（國學院大學教授）



⇐ 時折来場者へ話しかけながら講演する水無田さん

☆宣言文唱和☆

フォーラムの参加者全員で男女共同参画都市宣言を読み上げました。

古河市男女共同参画都市宣言

わたらせ 渡良瀬の悠久の流れをのぞみ
万葉の歴史と文化の薫りただよまち 古河市
わたしたちは このまちに暮らし
集うすべての男女が互いに尊重し合い
ともに手をたずさえ
一人ひとりが自分らしく輝き
心豊かに生活できる社会の実現をめざし
ここに「男女共同参画都市」を宣言します

平成21年2月7日
古河市

☆会場内展示☆

⇨ 市内で男女共同参画の推進に寄与していた個人や団体の活動内容を紹介したパネル展示を行い、フォーラム参加者は足を止めて眺めていました



國學院大學経済学部教授で詩人・社会学者としてメディア等でも活躍する水無田気流（みなしたきりう）さんに男女が幸福になるための社会づくりについてお話いただきました。

「日本の男性は世界で最も孤独」であり、「日本の女性は先進国の中で最も時間がない」と、豊富なデータを用いながら日本におけるジェンダーギャップについての数々の問題点を指摘されました。

また、出産・育児を経験しながらキャリアを確立していく現代女性の完璧なライフコースをモデルに挙げ、「超人」と例えられました。そして就労第一にならざるを得ない男性の「関係貧困」問題も指摘され、男性の片働きを前提とした現行の社会制度を見直し、雇用環境を改善するだけでなく男女問わず働き方・暮らし方を変えていく必要があると結ばれました。

参加者からは、「ユーモアがあって面白く、とても勉強になる講演だった。」「我が家の生活を見直す絶好のチャンスになった。」「もっと多くの方々、特に若い人達に聞いてもらいたいと思った。」といった感想が寄せられました。

一行詩「男女の詩」

昨年に引き続き、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについて日々感じていること、将来実現させたいことなどをテーマに募集した一行詩「男女の詩」に市内外より**185作品**の応募がありました。各部門の最優秀賞作品を紹介いたします。

おとこ 男らしさ
おんな 女らしさ
じゅうよう 重要ですか？
たいせつ 大切なのは
じぶん 自分らしさ

●一行詩部門
あやか 林文香さん
30代女性主婦
(群馬県佐波郡玉村町)



●イラスト一行詩部門
つのもり 角森玲子さん
50代女性自営業
(島根県安来市)

※その他入賞作品は公式HPをご覧ください。



講座「男が働かない、いいじゃないか！」

平成30年11月11日に古河福祉の森会館にて大正大学准教授の**田中俊之さん**をお招きし、**男性学**の視点から男性の仕事中心の生き方を見直すことをテーマにご講義をいただきました。社会的背景から日本の男性が抱える問題や生きづらさ等について、具体的な事例を交えながらお話いただきました。男性学を研究分野とされている方は全国的にとても少なく、大変貴重な講義となりました。



↑男性が男性であるがゆえに抱える悩みや葛藤について話す田中さん

男女共同参画古河市民ネットワーク(ゆめこらぼ)

会員企業募集!!

すべての男女が互いに尊重しあい、共に手をたずさえ、一人ひとりが自分らしく輝き心豊かに生活できる社会を実現するために、教育、文化、福祉、地域コミュニティ等市内で活動する団体、個人(H31.3月現在団体31、個人23)で活動し、イベント等での啓発活動や男女共同参画フォーラムの開催などを古河市や古河市男女共同参画推進会議と協働して行っております。

意識啓発の取り組みとして作成した“紙しばい”を紹介します。

●平成版 ももたろう

第1部 ももたろう「平成版ももこ誕生編」

おじいさんが川へ洗濯に、おばあさんが山へ柴刈りに行く？いつもと違うももたろう。川から流れてきた桃から生まれたのは女の子！「ももこ」と名付けて悪戦苦闘しながら家事を分担し、子育てをしていく話です。

第2部 ももこ おにたいじに行く

ももこが成長しておにたいじに！しかし、鬼が島での鬼達の生活は性別による固定的役割分担意識に縛られ長時間労働に喘ぎ、男女共同参画社会の実現がいま必要とされている話です。



●一寸ちゃんが行く

同じ年頃の男の子より体の小さな「一寸ちゃん」がふとしたことから日本中を巡る旅に出ます。旅先で出会ったのは「かぐや姫」「浦島太郎」「つる？」……互いの違いを認め合う話です。